

ただではじめる DTM

4E Grow

1. はじめに

DTMとは「Desk Top Music」の略です。パソコンを使って作曲を行うことを指します。この記事では、できるだけ安く（タダで）DTMを行うためにフリー音源を紹介していくものとなります。「へー、こんなものがあるんだ」程度でも目を通していただくとうれしいです。使い方等はwebで探せばいろんな人が説明しているのでそちらをご覧ください。

2. DAW

DAWとは「Desktop Audio Workstation」の略です。音源の打ち込み、各トラックのミックスを行うことができます。

フリーのものとしては「reaper ver0.999」

「music studio producer」などがあります。こちらの導入方法・使用方法もwebで探してみてください。

3. VST

VST¹とは「Virtual Studio Technology」の略で、ソフトシンセやエフェクタなどをDAW上で動くようにする規格です。Midi音源と同じく音を作るVSTや音の加工などを行うVSTがあります。

では、音源の紹介から行きたいと思います。

・ Synth1 (シンセサイザー)

<http://www.geocities.jp/daichi1969/softsynth/>
便利な国産ソフトシンセ！

これで大抵の音が作れるそうです。シンセがどう動くかという動きをするのかもわかりやすい表示になっていると思うので、シンセを試してみたいって人は一度触ってみるといいと思います。作者さんのサイトで127×6程度の音源が落とせますし、自分で作ったプリセットを公開している人もいるので、音色はwebで探せば探すほど出てきます。



図 Synth1

・ DSK (各種音源)

<http://rekkerd.org/dsk-vsti/>

図のB3xはオルガン音源のVSTです。教会っぽい音がなるので楽しいです。他にもコーラスやキーボード、ヴァイオリンなど色んな音源がそろっています。

ちなみにフリー音源のみの紹介とっていましたが、このDSKVSTiシリーズはドネーションウェア²というものです。私もこの音源を使ってCDでも作ったから寄付したほうがよさそうですね。



図 DSK B3x

・ ORGANized trio (ハモンドオルガン)

<http://www.genuinesoundware.com/>

DSKと同じくドネーションウェア。プログレッシブロックなどで多様されているらしい「ハモンドオルガン」のB-3シリーズをエミュレートしているVST音源です。パイプオルガンみたいな音がします。



図 ORGANized trio

1 この説明は合ってません。気になる人は調べてください。

2 フリーで使えるけどよければ寄付してね！ってソフトウェア。アンパウェアとも呼ばれている。

• monolisa (シンセサイザー)

<http://www.omnitaaur.se/>

モノフォニックのソフトシンセです。プリセットに〇〇bassというのがたくさんあり、ベースの音源としてよく使用しています。ElectricBassのプリセットをよく使ってます。便利です。



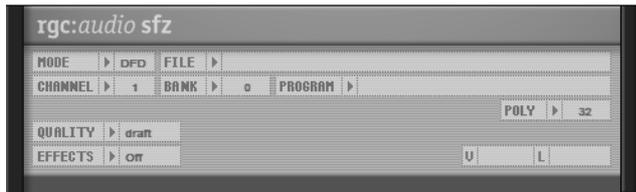
☒ monolisa

• sfz (サンプラー)

<http://www.rgcaudio.com/sfz.htm> (リンク切れ)

soundfont や wav ファイルなどを音源として使用できるようにするものです。

soundfont とは、midi 音源をまとめてファイルにしたようなもの、らしいです。soundfont は web で探せばフリーで色々な音色が見つかりますし、MSGS 音源³より良い音が出ると思います。



☒ sfz

• FA3Amp (アンプシミュレータ)

<http://frettedsynth.home.att.net/>

アンプシミュレータ (アンシミュ) はギターやベース、声などのアンプをシミュレーションするものです。宅録をするときに必要不可欠なものとなります。

FA3Amp はフリーのアンシミュで知ってる限りでは一番高性能なものだと思います。アンプのパラメータはもちろん、スピーカの種類、各種エフェクタもそろっているのだからこれひとつで宅録はばっちりです！

一応このサイトが公開してるのですが、記事を作る時に確認したらリンク切れしてました。まだ落とせる場所があるといいのですが……。



☒ FA3amp

• c-15 (アンプシミュレータ)

<http://www.acmebargig.com/>

メタルな音が簡単に作れます。このサイトには他にもさまざまなアンシミュが公開されています。ドンシャリな音が手軽に作れるので便利です。



☒ c-15 (AcmeBarGig)

• dirthead (アンプシミュレータ)

<http://www.ndzeit.org/guitar/dirthead.html>

どうやら ver0.8 のベータ版ということでタダで落とせるようです。これも c-15 と同様にドンシャリな音を作るのに使っています。真ん中のランプの切り替えで 3 種類の音 (clean ~ drive?) が出せるようです。Drive の音を好んで使っていますが高温が強いシャリシャリな音でデジタルなギターって感じがします。



☒ dirthead



3 windows に内蔵されているソフトウェア midi 音源

・エフェクター

音源の音に対して残響音を与えるディレイ・リバーブなどやある周波数帯の音の出力を変化させるフィルタ・イコライザなど、音に影響を与えるものです。

・kjaerhus audio(各種エフェクター)

<http://www.acoustica.com/plugins/vst-directx.htm>

コーラス、コンプレッサー、ディレイ、EQ、フランジャー、リミッター、リバーブ、オートフィルタ、何でもござれのエフェクターセットです。一通りのエフェクタがまとめて手に入るのであると便利です。



☒ classic audio series

・Glace Verb (リバーブ)

<http://www.dasample.com/>(リンク切れ)

結構揺れが強いリバーブっぽいです。見た目が好きなのでリバーブかけたいときはとりあえずこれ使ってます。

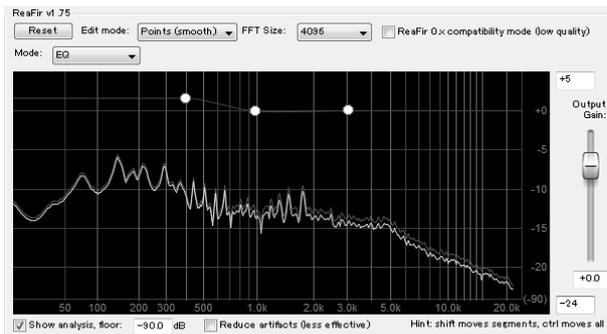


☒ GlaceVerb(Da Sample)

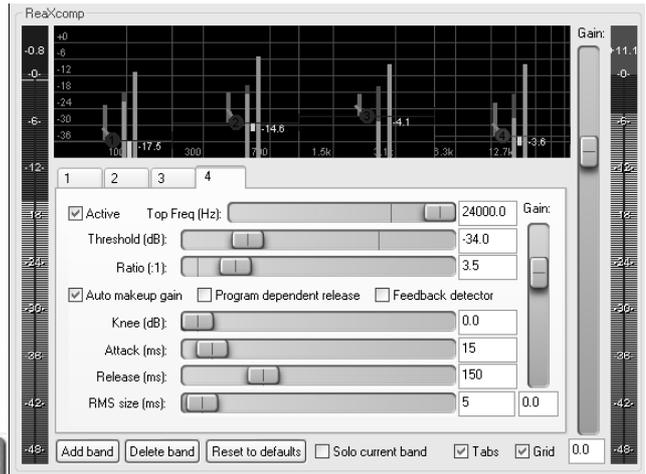
・reaplugin(各種エフェクター)

<http://www.reaper.fm/reaplugs/index.php>

DAWの項で紹介したreaper付属のプラグインです。プラグインだけを別にDLすることが可能です。下の図はreafirの画像です。reapluginの中で一番使用しているプラグインです。視覚的にフィルタ処理を行うことができるので便利です。他にもX-compなどミックスの際に便利なプラグインもいくつかあります。Reaxcompは帯域ごとにコンプレッサーをかけるのでミックスのときに使えると思います。



☒ reafir

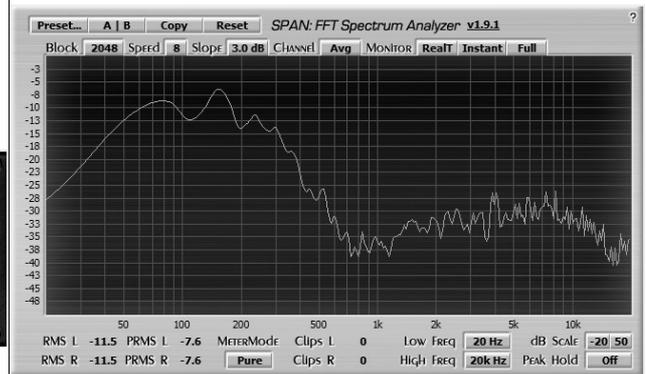


☒ reaxcomp

・Voxengo SPAN(スペクトルアナライザ)

<http://www.voxengo.com/>

スペクトルアナライザとは、周波数ごとの音の強さを表示するものです。音を周波数軸で見るもので、ミックスのときに使ってます。スペアナの動きを見るだけでも楽しいです。



☒ Voxengo SPAN

4. 終わりに

いろいろな説明を省いた上で、フリーVSTの紹介だけを行わせていただきました。この記事を読んでひとつでも新たなことを知っていただけたならうれしく思います。

最近はフリーでいろいろできるようになったので、すごく財布にやさしい時代になりましたね。フリーで公開している製作者の方々には頭が下がります。